

広島市教育大綱における「重点的な取組」の進捗状況

- (1) 一人一人の個性・特性を尊重するとともに、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。

大綱本文

学校教育を通じて、子どもたちが、学力の定着はもとより、全人格的な発達・成長ができるよう、教員による対面授業、子ども同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等の協働的な学びなど、学校ならではの学びを推進する。それと併せて、それぞれの教育段階において、ICTを活用した子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導等により、個別最適な学びを推進する。

主な事業等

【学力向上の推進】

○ 全国学力・学習状況調査における平均正答率

小学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	66%(64.7%)	67%(65.6%)	68%(67.2%)	69%(67.7%)
算数	71%(70.2%)	65%(63.2%)	64%(62.5%)	64%(63.4%)
理科		66%(63.3%)		

中学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	64%(64.6%)	69%(69.0%)	70%(69.8%)	57%(58.1%)
数学	58%(57.2%)	51%(51.4%)	50%(51.0%)	51%(52.5%)
理科		49%(49.3%)		
英語	聞くこと・読むこと・書くこと		45%(45.6%)	
話すこと			14%(12.4%)	

※ () 内全国

※ 平成29年度以降の市の平均正答率は整数で公表されている。

○ 全国学力・学習状況調査における正答率30%未満の児童生徒の割合

小学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	8.5%(9.2%)	9.1%(10.2%)	6.9%(7.0%)	6.9%(7.7%)
算数	4.0%(4.8%)	7.3%(8.9%)	8.5%(9.8%)	9.8%(10.4%)
理科		9.7%(11.9%)		

中学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	6.6%(7.1%)	6.7%(6.7%)	5.7%(7.1%)	13.1%(12.6%)
数学	11.7%(13.0%)	26.9%(26.0%)	25.8%(25.0%)	20.7%(20.3%)
理科		20.3%(19.9%)		
英語	聞くこと・読むこと・書くこと		35.1%(36.1%)	
話すこと			83.0%(84.0%)	

※ () 内全国

【英語教育の充実】再掲

○ CEFRA1 レベル相当（英検3級など）以上を達成した中学校3年生の割合

目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
60%				
(広島市英語教育改善プランの指標)	54.0%	54.4%	57.3%	56.7%

○ CEFRA2 レベル相当（英検準2級など）以上を達成した高等学校3年生の割合

目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
70%				
(広島市英語教育改善プランの指標)	65.2%	65.6%	67.8%	67.9%

- 英語専科指導教員配置校数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
108校	141校	141校	140校

- 中学校英語指導助手（ALT）数とその配置校数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
26名	32名	32名	34名
52校	63校	63校	63校

【体力向上の取組】

- 体力合計点（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小5男子	52.3点（-0.2）	51.9点（-0.4）	51.9点（-0.7）	51.8点（-0.7）
小5女子	54.3点（-0.3）	53.5点（-0.8）	53.0点（-1.3）	52.8点（-1.1）
中2男子	41.2点（+0.1）	40.9点（-0.1）	41.1点（-0.2）	41.4点（-0.3）
中2女子	49.1点（+0.7）	46.9点（-0.5）	46.3点（-0.9）	46.3点（-0.9）

※（ ）は全国平均値との差

【中山間地・島しょ部の小・中学校における特色ある教育の推進】

[小中一貫教育校]

- 小中一貫教育校において、小中合同で研修会を開催
- 総合的な学習の時間の一部を各学校の独自教科にあて、義務教育9年間の中で育成する資質・能力を学校運営協議会で共有
- 各学校の地域特性を生かし、地域人材を積極的に活用したカリキュラムの編成、地域とともにある特色ある教育活動の推進

[筒瀬小学校]

- 身近な森林や農地などの地域資源を生かした教育活動の実施

[通学区域外の児童生徒の募集]

- 通学区域外から通学する児童生徒の募集（似島小中一貫教育校、戸山小中一貫教育校、阿戸小中一貫教育校、筒瀬小学校）
- 新規の入学・転入学者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
似島小中一貫教育校	8人	4人	5人	3人
	11人	6人	16人	17人
戸山小中一貫教育校	0人	1人	2人	4人
	4人	12人	7人	3人
阿戸小中一貫教育校	0人	0人	0人	0人
	0人	1人	1人	0人
筒瀬小学校	3人	3人	1人	5人

※ 一貫校については上段が小学校、下段が中学校の数値

[湯来地域]

- 全ての小学校及び中学校を統合し、特色ある教育を行う小中一貫教育校の新設に向けた取組を推進

【学校の情報教育環境整備】

- 令和3年度にタブレット端末及び高速大容量の通信ネットワークの整備を完了したほか、令和4年度に大型提示装置の更新を完了するなど、学校においてICTを快適かつ安心・安全に活用できるよう、学校の情報教育環境整備に取り組んだ。

【タブレット端末の活用の促進】

- 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で活用した頻度がほぼ毎日と回答した学校の割合（全国学力・学習状況調査の結果より）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	29.3%(58.2%)	61.7%(65.2%)	74.3%(69.0%)
中学校	28.1%(55.5%)	43.8%(62.6%)	50.0%(67.5%)

※（ ）内全国

- 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で使用させた頻度がほぼ毎日と回答した学校の割合（全国学力・学習状況調査の結果より）

区分	令和5年度	令和6年度
小学校	16.3%(16.0%)	18.6%(19.3%)
中学校	6.3%(12.2%)	7.8%(14.8%)

※（ ）内全国

全ての子どもに基礎的・基本的な知識・技能等を確実に定着させるほか、芸術・文化、スポーツ等において、民間団体や大学等が実施する学校外での学びとの連携や、教育内容の充実など、子どもの才能を伸ばしていくことができる仕組みづくりにも取り組む。

【学力向上の推進】再掲

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率

小学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	66%(64.7%)	67%(65.6%)	68%(67.2%)	69%(67.7%)
算数	71%(70.2%)	65%(63.2%)	64%(62.5%)	64%(63.4%)
理科		66%(63.3%)		

中学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	64%(64.6%)	69%(69.0%)	70%(69.8%)	57%(58.1%)
数学	58%(57.2%)	51%(51.4%)	50%(51.0%)	51%(52.5%)
理科		49%(49.3%)		
英語	聞くこと・読むこと・書くこと		45%(45.6%)	
話すこと			14%(12.4%)	

※（ ）内全国

※ 平成29年度以降の市の平均正答率は整数で公表されている。

- 全国学力・学習状況調査における正答率30%未満の児童生徒の割合

小学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	8.5%(9.2%)	9.1%(10.2%)	6.9%(7.0%)	6.9%(7.7%)
算数	4.0%(4.8%)	7.3%(8.9%)	8.5%(9.8%)	9.8%(10.4%)
理科		9.7%(11.9%)		

中学校

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国語	6.6%(7.1%)	6.7%(6.7%)	5.7%(7.1%)	13.1%(12.6%)
数学	11.7%(13.0%)	26.9%(26.0%)	25.8%(25.0%)	20.7%(20.3%)
理科		20.3%(19.9%)		
英語	聞くこと・読むこと・書くこと		35.1%(36.1%)	
話すこと			83.0%(84.0%)	

※（ ）内全国

【地域とともにある学校づくりについて】再掲

[コミュニティ・スクール]

○ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）導入校の推移

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	0校	21校	141校
中学校	0校	9校	63校
高等学校	0校	7校	7校
中等教育学校	0校	1校	1校
特別支援学校	0校	1校	1校
小中一貫教育校	3校	3校	3校
計	3校	42校	216校
割合	1.4%	19.4%	100%

※ 令和4年度に全校への導入完了

○ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に係る研修会アンケート結果

質問項目	肯定的回答の割合	
	令和5年度	令和6年度
地域と学校の連携・協働により、学校の教育活動の充実につながると感じた	96%	98%
地域と学校の連携・協働を進めることが、学校における働き方改革につながると感じた	76%	83%
地域の特性を生かした取組を充実していきたいと感じた	95%	98%
学校運営協議会で熟議する議題（テーマ）について、新しい視点を持つことができた	93%	93%
地域全体で子どもを育てていくために、学校、家庭、地域で、育てたい子ども像などの目標を共有することが大切だと感じた	—	99%

○ 学校教育活動地域連携推進事業校種別テーマ実施状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自然・歴史	183回	228回	229回
伝統文化	127回	143回	149回
キャリア教育	94回	115回	116回
計	404回	486回	494回

※ 令和3年度は別事業（感動体験推進事業）として実施のため実績の記載は無し

○ まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト参加者数

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
放課後学習会のべ参加者	学習支援者（登録数）	8,441人 (428人)	11,250人 (512人)	11,871人 (522人)	10,895人 (503人)
	生徒	36,643人	47,329人	55,565人	57,599人
地域支援活動のべ参加者	地域住民	1,070人	3,240人	4,224人	5,502人
	生徒	6,823人	11,962人	16,771人	18,389人

※ 令和3年度は56校で実施し、令和4年度から全63校で実施

多様な特別支援教育ニーズ、LGBTの子どもや日本語指導が必要な子どもの存在などを踏まえ、特別な配慮を必要とする子どもへの支援の充実や環境の改善に取り組む。

【特別支援教育の推進】

○ 特別支援教育の対象となる児童生徒数

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特別支援学校		553 人	555 人	551 人	577 人
小・中学校の特別支援学級		3,168 人	3,475 人	3,747 人	4,031 人
通常の学級		6,942 人	7,378 人	7,633 人	8,050 人
通級による指導(小・中・高)		400 人	391 人	386 人	395 人
医療的ケア児	幼～高	15 人	16 人	17 人	21 人
	特支	44 人	42 人	41 人	39 人

○ 特別な教育的ニーズのある児童生徒等を支える人的配置等

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特別支援学級指導員(小・中)		299 人	300 人	300 人	300 人
学習サポーター・特別支援教育アシスタント		614 人	634 人	665 人	666 人
医ケア看護師	幼～高	15 人	16 人	17 人	21 人
	特支	12 人	13 人	14 人	14 人

○ 校内支援体制の充実に関する事業

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
巡回相談指導実施校・実施回数(延べ回数)	80 校 125 回	113 校 168 回	101 校 174 回	110 校 168 回

【広島特別支援学校の児童生徒数の増加への対応について】

○ 広島特別支援学校の児童生徒数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小・中学部	293 人	286 人	288 人	299 人
高等部	260 人	269 人	263 人	278 人
合計	553 人	555 人	551 人	577 人

- 当該学校の児童生徒数の増加に伴う教室不足の解消及び高等部における一層の職業教育の充実を図るため、既存校舎の北側の旧出島処理場跡地に、職業教育に必要な施設・設備を有する、高等部の単一障害学級の生徒が学ぶ校舎を増築し、令和7年3月に竣工した。

【学校施設のバリアフリー化】

- エレベーター整備については、新築及び増改築する校舎に整備する方針としていたが、令和2年度に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が改正されたことを受け、常時車いすを利用している児童生徒が在籍している学校を対象に、順次整備に取り組んでいる。

○ エレベーター整備

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0 校	0 校	0 校	3 校

【学校における LGBT 対応について】

- 教員の資質向上及び学校の環境整備に取り組む必要があり、教員の資質向上のため、研修会を継続的に実施し、全ての園・学校において支援体制の充実を図っている。

【外国にルーツのある児童・生徒の教育について】

- 日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する学校に日本語指導コーディネーターを派遣した学校数及び訪問回数

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
学校数	41 校	61 校	67 校	57 校
訪問回数	86 回	159 回	156 回	129 回

- 日本語指導を主とした基本的な学力補充を行う日本語指導協力者を派遣した学校数、児童生徒数及び訪問回数

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
学校数	76 校	76 校	95 校	88 校
児童生徒数	153 人	156 人	162 人	194 人
訪問回数	4,068 回	4,560 回	4,520 回	5,162.5 回

※ 小学校・特別支援学校（小学部）1 回 1.5 時間（0.5 回は 0.75 時間）

※ 中学校・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（中学部）1 回 2 時間（0.5 回は 1 時間）

※ 高等学校においては、令和 6 年度から日本語指導協力者が訪問し、日本語指導を行っている。令和 6 年度には広島商業高等学校、広島工業高等学校、広島みらい創生高等学校において日本語指導を実施した。また、広島みらい創生高等学校については、日本語指導コーディネーターを配置し、令和 6 年度から「特別の教育課程」を編成・実施している。

義務教育段階や高等学校教育段階での学習内容の学び直しを含め、生涯にわたっての多様な学習ニーズに応じた学びの機会の提供に取り組む。

【中学校夜間学級の運営】

- 二葉中学校夜間学級在籍生徒数（夜間学級要覧より）

国籍	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
日本	2 人	2 人	2 人	1 人
外国籍※	20 人	20 人	14 人	14 人
計	22 人	22 人	16 人	15 人

※ 中国、ネパール、フィリピン、ペルー、ブラジル、インド

- 観音中学校夜間学級在籍生徒数（夜間学級要覧より）

国籍	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
日本	2 人	3 人	4 人	4 人
外国籍※	21 人	17 人	17 人	23 人
計	23 人	20 人	21 人	27 人

※ 中国、フィリピン

【広島みらい創生高等学校のフレキシブル教育の充実】

- 広島みらい創生高等学校 1 年次在籍生徒数推移（各年度 5/1 時点）

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
定時制	220 人	194 人	240 人	240 人
通信制	202 人	199 人	263 人	309 人

被爆の実相と復興の歩みを確実に理解させ、平和に関して自分の考えを持ち、それを基に行動できる力を育成する平和教育をより一層推進する。また、自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材を育成するため、英語教育の充実に取り組む。

【平和教育の推進】

- 各学校において、「ひろしま平和ノート」を活用した学習をはじめ、「継承」と「発信」を主軸とした平和教育を推進
- 被爆体験を聴く会等の実施状況

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
133 園・校	138 園・校	170 園・校	171 園・校

- こどもピースサミット作文応募者数及び参加校数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
10,974 人 (142 校)	11,012 人 (142 校)	10,737 人 (144 校)	10,424 人 (142 校)

- 中学生による「伝える HIROSHIMA プロジェクト」メッセージ応募点数及び応募校数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,762 点 (30 校)	1,153 点 (31 校)	1,408 点 (32 校)	2,544 点 (69 校)

【英語教育の充実】

- CEFRA1 レベル相当（英検3級など）以上を達成した中学校3年生の割合

目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
60% (広島市英語教育改善プランの指標)	54.0%	54.4%	57.3%	56.7%

- CEFRA2 レベル相当（英検準2級など）以上を達成した高等学校3年生の割合

目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
70% (広島市英語教育改善プランの指標)	65.2%	65.6%	67.8%	67.9%

- 英語専科指導教員配置校数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
108 校	141 校	141 校	140 校

- 中学校英語指導助手（ALT）数とその配置校数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
26 名 52 校	32 名 63 校	32 名 63 校	34 名 63 校

人と自然の共生が重要であるとの視点に立ち、脱炭素社会の構築に向けた環境教育や豪雨災害の教訓も踏まえた防災教育の充実に取り組む。

【高校生による温暖化対策チャレンジ事業】

- 市立広島工業高校による環境センサーネットワーク研究を通して、環境問題の解決に取り組む人材を育成

【環境教育の推進】

- 各学校において作成した全体計画、年間指導計画を基に、全教育課程を通して、計画的・系統的な環境教育の実施。
- 持続可能な社会を構築する一員としての実践力を高める取組の実施。(小・中学校)

【防災教育の推進】

- 毎年度当初に、各学校が地域の状況等を踏まえた上で、安全に関する年間の指導計画や避難訓練の実施などを内容とする「学校安全計画」を作成し、計画的に防災に関する学習を行っている。
- 具体的には、理科や社会科などの各教科において、豪雨や地震などの自然災害が起きる原因や仕組み、災害時に命を守るための取組について学習するほか、特別活動や総合的な学習の時間においては、平成26年に発生した豪雨災害の教訓を基に本市が作成した「土砂災害防災教育の手引き」を活用した学習を行っている。

- (2) 大学等と連携しながら、高い意欲と能力を持つ教員の養成・確保を図るとともに、教員が教育活動を行う上で、学校がやりがいと魅力のある場となるよう、学校における働き方改革をより一層推進します。

大綱本文	主な事業等																														
教員志望者の増加を図るため、教員養成段階から学生に教育現場におけるやりがいと魅力が伝わるよう、積極的な情報発信に取り組む。	【教員採用試験の在り方について】																														
	○ 広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験の受験倍率等																														
	<table><tr><th>区分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>志願者数</td><td>2,880人</td><td>3,227人</td><td>3,037人</td><td>2,822人</td><td>2,825人</td></tr><tr><td>受験者数</td><td>2,643人</td><td>2,915人</td><td>2,749人</td><td>2,583人</td><td>—</td></tr><tr><td>名簿登載者</td><td>972人</td><td>934人</td><td>906人</td><td>958人</td><td>—</td></tr><tr><td>受験倍率</td><td>2.7倍</td><td>3.1倍</td><td>3.0倍</td><td>2.7倍</td><td>—</td></tr></table>	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	志願者数	2,880人	3,227人	3,037人	2,822人	2,825人	受験者数	2,643人	2,915人	2,749人	2,583人	—	名簿登載者	972人	934人	906人	958人	—	受験倍率	2.7倍	3.1倍	3.0倍	2.7倍	—
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																									
	志願者数	2,880人	3,227人	3,037人	2,822人	2,825人																									
	受験者数	2,643人	2,915人	2,749人	2,583人	—																									
	名簿登載者	972人	934人	906人	958人	—																									
	受験倍率	2.7倍	3.1倍	3.0倍	2.7倍	—																									
	○ 広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験説明会の実施回数及び参加人数																														
	<table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>70回</td><td>89回</td><td>101回</td><td>102回</td></tr><tr><td>2,285人</td><td>2,426人</td><td>3,069人</td><td>2,891人</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	70回	89回	101回	102回	2,285人	2,426人	3,069人	2,891人																		
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																												
70回	89回	101回	102回																												
2,285人	2,426人	3,069人	2,891人																												
○ (大学生等を対象とした) ひろしま未来教師セミナー参加者数																															
<table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>92人</td><td>100人</td><td>75人</td><td>104人</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	92人	100人	75人	104人																							
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																												
92人	100人	75人	104人																												
○ 高校生を対象としたひろしま未来教師セミナーの実施回数																															
<table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>5回</td><td>6回</td><td>7回</td><td>6回</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	5回	6回	7回	6回																							
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																												
5回	6回	7回	6回																												
時代の変化への教員の対応力を高めるため、ICTを活用した指導力や、探究心を持ちつつ新しい知識・技能を学び続ける力などの向上を図る。	【「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」の活用】																														
	○ 教員等が職責、経験及び適正に応じて身に付けるべき資質として「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を策定																														
	○ 令和5年度から研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励、令和6年度からは全国教員研修プラットフォームを運用している。																														
	【広島市教員等育成に関する協議会の開催】																														
	○ 大学関係者及び学校関係者から意見聴取するための協議会を、平成30年度から開催（各年度1回以上）している。																														
	【教員研修計画に基づいた教職員研修の実施】																														
	○ 対象者全員が受講する研修として、臨時的任用教諭研修や経験年次研修、管理職研修、主任・主事研修及び職務別研修を実施するほか、所属長の推薦により受講する研修と申込により受講する研修を体系的かつ効果的に実施している。																														

子どもに向き合う時間を確保し、総合的な指導を持続的に行うことができる学校教育体制の構築を図るため、学校における働き方改革を更に推進する。

【学校における働き方改革の推進】

○ 第2期働き方改革推進プランに掲げる目標の達成状況

指標	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標1 年間月平均の勤務時間外の在校等時間が45時間以下の教職員の割合	100%	73.3%	74.1%	76.9%
目標2 連続した3か月平均で勤務時間外の在校等時間が80時間以下の教職員の割合	100%	95.2%	96.1%	96.3%
目標3 年次有給休暇の平均取得日数	16日以上	15.0日	16.4日	15.2日

○ 第1期働き方改革推進プランに掲げた目標の達成状況

指標	目標値	令和3年度	令和4年度
目標1 全教職員の年間月平均の勤務時間外の在校等時間	45時間以下	34.4時間	33.7時間
目標2 連続した3か月平均で勤務時間外の在校等時間が80時間超の教職員の割合	0%	4.9%	4.8%
目標3 年次有給休暇の平均取得日数	16日以上	14.1日	15.0日

【教職員の在校等時間の管理】

- 在校等時間の記録・集計
- 超過業務時間の削減に向けた指導・助言

【教職員の健康管理体制】

○ 教員の精神疾患による病気休職者等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
休職者	44人	40人	40人	40人
1か月以上の病気休暇取得者	65人	72人	82人	86人
合計	109人	112人	122人	126人

○ 産業保健スタッフによる職場巡視・学校訪問件数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
産業医	21校	52校	34校	36校
保健師	—	—	—	115校
合計	21校	52校	34校	151校

(3) 子どもに関わる全ての人が連携・協働し、様々な境遇にある子どもの学びを支え、進める「ひろしま型チーム学校」の体制や取組を強化するとともに、まちづくりにつながる教育に取り組みます。

大綱本文

将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるようなキャリア教育システムの確立も視野に入れつつ、地元企業等での職場体験など、産業界と一体となった教育の充実を図る。

主な事業等

【キャリア教育の推進】

○ 小学校において、まち探検や社会見学及び外部講師による講演会等を実施

○ 中学校において、職場体験学習又は職業講話を実施

○ 高等学校においては、産業界の一線で活躍している企業人や大学教授などによる講義を行う「プロフェッショナル人材事業」を全校で実施

○ 職場体験及び職業講話実施校等（中学校）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職場体験学習	5校	12校	38校	55校
ひろしまキャリア教育 応援団協力企業等数	34	42	43	43
職業講話 (ひろしまキャリア教育応援団 からの講師派遣による)	24校 (講師113人)	33校 (講師137人)	30校 (講師141人)	33校 (講師149人)

○ インターンシップ参加者数（高等学校）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数	82人	141人	172人	245人

【地域とともにある学校づくりについて】

○ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）導入校の推移

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	0校	21校	141校
中学校	0校	9校	63校
高等学校	0校	7校	7校
中等教育学校	0校	1校	1校
特別支援学校	0校	1校	1校
小中一貫教育校	3校	3校	3校
計	3校	42校	216校
割合	1.4%	19.4%	100%

※ 令和4年度に全校への導入完了

○ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に係る研修会アンケート結果

質問項目	肯定的回答の割合	
	令和5年度	令和6年度
地域と学校の連携・協働により、学校の教育活動の充実につながると感じた	96%	98%
地域と学校の連携・協働を進めることが、学校における働き方改革につながると感じた	76%	83%
地域の特性を生かした取組を充実していきたいと感じた	95%	98%
学校運営協議会で熟議する議題（テーマ）について、新しい視点を持つことができた	93%	93%
地域全体でこどもを育てていくために、学校、家庭、地域で、育てたいこども像などの目標を共有することが大切だと感じた	—	99%

○ 学校教育活動地域連携推進事業校種別テーマ実施状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自然・歴史	183回	228回	229回
伝統文化	127回	143回	149回
キャリア教育	94回	115回	116回
計	404回	486回	494回

※ 令和3年度は別事業（感動体験推進事業）として実施のため実績の記載は無し

○ まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト参加者数

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
放課後学習会のべ参加者	学習支援者（登録数）	8,441人 (428人)	11,250人 (512人)	11,871人 (522人)	10,895人 (503人)
	生徒	36,643人	47,329人	55,565人	57,599人
地域支援活動のべ参加者	地域住民	1,070人	3,240人	4,224人	5,502人
	生徒	6,823人	11,962人	16,771人	18,389人

※ 令和3年度は56校で実施し、令和4年度から全63校で実施

地域の文化、伝統、自然について学びながら、地域社会を構成する一員としての自覚を高め、将来のまちづくりを担う力や利他の心を育むため、子どもたちの地域行事や地域貢献活動への積極的な参加を促すとともに、よりよい地域社会の担い手として育っていきけるよう、社会性や道徳心のかん養に取り組む。

【地域とともにある学校づくりについて】再掲

○ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）導入校の推移

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	0校	21校	141校
中学校	0校	9校	63校
高等学校	0校	7校	7校
中等教育学校	0校	1校	1校
特別支援学校	0校	1校	1校
小中一貫教育校	3校	3校	3校
計	3校	42校	216校
割合	1.4%	19.4%	100%

※ 令和4年度に全校への導入完了

○ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に係る研修会アンケート結果

質問項目	肯定的回答の割合	
	令和5年度	令和6年度
地域と学校の連携・協働により、学校の教育活動の充実につながると感じた	96%	98%
地域と学校の連携・協働を進めることが、学校における働き方改革につながると感じた	76%	83%
地域の特性を生かした取組を充実していきたいと感じた	95%	98%
学校運営協議会で熟議する議題（テーマ）について、新しい視点を持つことができた	93%	93%
地域全体でこどもを育てていくために、学校、家庭、地域で、育てたいこども像などの目標を共有することが大切だと感じた	—	99%

○ 学校教育活動地域連携推進事業校種別テーマ実施状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自然・歴史	183 回	228 回	229 回
伝統文化	127 回	143 回	149 回
キャリア教育	94 回	115 回	116 回
計	404 回	486 回	494 回

※ 令和3年度は別事業（感動体験推進事業）として実施のため実績の記載は無し

○ まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト参加者数

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
放課後学習会 のべ参加者	学習支援者 (登録数)	8,441 人 (428 人)	11,250 人 (512 人)	11,871 人 (522 人)	10,895 人 (503 人)
	生徒	36,643 人	47,329 人	55,565 人	57,599 人
地域支援活動 のべ参加者	地域住民	1,070 人	3,240 人	4,224 人	5,502 人
	生徒	6,823 人	11,962 人	16,771 人	18,389 人

※ 令和3年度は56校で実施し、令和4年度から全63校で実施

【道徳教育の推進】

○ みんなで語ろう！心の参観日 実施状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	51.8%	92.2%	98.6%	99%
中学校	76.9%	90.5%	97.5%	98.5%

○ 広島グッドチャレンジ賞 表彰数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中学校・高等学校	147 件	170 件	191 件	222 件

【スクールソーシャルワーカーの体制強化について】

○ スクールソーシャルワーカー等の配置人数とケース数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配置人数※1	19 人	20 人	21 人	23 人
ケース数※2	797 件	811 件 (45 件)	942 件 (47 件)	1,037 件 (58 件)

※1 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー1人を含む。

※2 () は、ヤングケアラーの疑いのある児童生徒に係る派遣要請件数（内数）

経済面や家庭環境等に課題を抱える子どもを、福祉制度をはじめ、社会全体で支援する仕組みに確実につなげることができるよう、関係機関との連携強化を図る。

- (4) いじめ対策については、「いじめを生まない支持的風土」の醸成などによる未然防止や、早期発見と組織的な対応に取り組めます。また、不登校対策については、個々の子どもの状況に応じた適切な支援に取り組めます。

大綱本文	主な事業等														
いじめの未然防止に向けて、予防的な生徒指導の充実や教育相談体制の強化、家庭や地域などの関係者が一体となった取組を推進する。	【いじめに関する総合対策の推進】 ○ いじめの認知件数（小・中・高） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>3,751 件</td><td>3,923 件</td><td>3,923 件</td><td>※4,564 件</td></tr></table> ※ 令和6年度の数値は速報値（R7.6.1時点）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3,751 件	3,923 件	3,923 件	※4,564 件						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
3,751 件	3,923 件	3,923 件	※4,564 件												
いじめや不登校に組織的かつ適切に対応するため、心理や福祉等の専門性を持ったスタッフを拡充するとともに、いじめ見逃しゼロを目指した積極的な認知や保護者との密接な連携などによるいじめの早期発見を進める。	【いじめに関する総合対策の推進】再掲 ○ いじめの認知件数（小・中・高） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>3,751 件</td><td>3,923 件</td><td>3,923 件</td><td>※4,564 件</td></tr></table> ※ 令和6年度の数値は速報値（R7.6.1時点）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3,751 件	3,923 件	3,923 件	※4,564 件						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
	3,751 件	3,923 件	3,923 件	※4,564 件											
	【不登校への適切な対応等のための取組】 ○ 不登校児童生徒数（小・中・高） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>2,755 人</td><td>3,489 人</td><td>3,857 人</td><td>※3,855 人</td></tr></table> ※ 令和6年度の数値は速報値（R7.6.1時点）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	2,755 人	3,489 人	3,857 人	※3,855 人						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
	2,755 人	3,489 人	3,857 人	※3,855 人											
	○ 「ふれあいひろば」支援児童生徒数（小・中） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>1,997 人</td><td>2,061 人</td><td>2,257 人</td><td>2,341 人</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	1,997 人	2,061 人	2,257 人	2,341 人						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
	1,997 人	2,061 人	2,257 人	2,341 人											
	○ 「ふれあい教室」の通室児童生徒数（小・中・高） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>192 人</td><td>211 人</td><td>284 人</td><td>236 人</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	192 人	211 人	284 人	236 人						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
	192 人	211 人	284 人	236 人											
○ 「保護者の会（木の実の会）」参加人数の推移（延べ数） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>77 人</td><td>113 人</td><td>121 人</td><td>177 人</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	77 人	113 人	121 人	177 人							
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度												
77 人	113 人	121 人	177 人												
○ フリースクール等の民間施設と、学校や教育関係機関との意見交換会の参加事業者数 <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>29 者</td><td>33 者</td><td>34 者</td><td>33 者</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	29 者	33 者	34 者	33 者							
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度												
29 者	33 者	34 者	33 者												
【スクールカウンセラーの配置】 ○ スクールカウンセラーの相談件数 <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>42,507 件</td><td>41,102 件</td><td>37,698 件</td><td>37,803 件</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	42,507 件	41,102 件	37,698 件	37,803 件							
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度												
42,507 件	41,102 件	37,698 件	37,803 件												
【スクールソーシャルワーカーの体制強化について】再掲 ○ スクールソーシャルワーカー等の配置人数とケース数 <table><tr><th>区分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>配置人数 ※1</td><td>19 人</td><td>20 人</td><td>21 人</td><td>23 人</td></tr><tr><td>ケース数 ※2</td><td>797 件</td><td>811 件 (45 件)</td><td>942 件 (47 件)</td><td>1,037 件 (58 件)</td></tr></table> ※1 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー1人を含む。 ※2 （ ）は、ヤングケアラーの疑いのある児童生徒に係る派遣要請件数（内数）	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	配置人数 ※1	19 人	20 人	21 人	23 人	ケース数 ※2	797 件	811 件 (45 件)	942 件 (47 件)	1,037 件 (58 件)
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
配置人数 ※1	19 人	20 人	21 人	23 人											
ケース数 ※2	797 件	811 件 (45 件)	942 件 (47 件)	1,037 件 (58 件)											

学校がNPOや民間教育事業者等と連携し、相互に協力・補完し合いながら、不登校の子どもの学びの機会の確保や居場所づくり等の取組を推進する。	【不登校への適切な対応等のための取組】 再掲 ○ 不登校児童生徒数（小・中・高） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>2,755 人</td><td>3,489 人</td><td>3,857 人</td><td>※3,855 人</td></tr></table> ※ 令和6年度の数値は速報値（R7.6.1時点） ○ 「ふれあいひろば」支援児童生徒数（小・中） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>1,997 人</td><td>2,061 人</td><td>2,257 人</td><td>2,341 人</td></tr></table> ○ 「ふれあい教室」の通室児童生徒数（小・中・高） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>192 人</td><td>211 人</td><td>284 人</td><td>236 人</td></tr></table> ○ 「保護者の会（木の実の会）」参加人数の推移（延べ数） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>77 人</td><td>113 人</td><td>121 人</td><td>177 人</td></tr></table> ○ フリースクール等の民間施設と、学校や教育関係機関との意見交換会の参加事業者数 <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>29 者</td><td>33 者</td><td>34 者</td><td>33 者</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	2,755 人	3,489 人	3,857 人	※3,855 人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	1,997 人	2,061 人	2,257 人	2,341 人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	192 人	211 人	284 人	236 人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	77 人	113 人	121 人	177 人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	29 者	33 者	34 者	33 者
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																						
2,755 人	3,489 人	3,857 人	※3,855 人																																						
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																						
1,997 人	2,061 人	2,257 人	2,341 人																																						
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																						
192 人	211 人	284 人	236 人																																						
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																						
77 人	113 人	121 人	177 人																																						
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																						
29 者	33 者	34 者	33 者																																						
学校で学びたくても学べない子どものために、遠隔・オンライン教育を活用するなど、ICTを活用した学びの保障に取り組む。	【タブレット端末の活用の促進】 ○ 不登校等児童生徒の実態に応じた学習支援の手段の一つとして、ICT機器等を活用した学習活動の取組を推進する。																																								

- (5) 今後の少子化を見据え、教育段階ごとに公立・私立、県・市の役割分担等を図り、持続可能な提供体制の構築に取り組むことで、質の高い教育を推進します。また、児童生徒数が増加傾向にある小・中学校や特別支援学校の教育環境の改善に取り組みます。

大綱本文	主な事業等								
幼児教育については、幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るとともに、持続可能な提供体制としていくため、公立園と私立園の特性を踏まえた役割分担を図る。	【幼児教育・保育の充実】 ○ 広島市乳幼児教育保育支援センターの設置・運営（平成 31 年度に設置。令和 6 年度からこども未来局に移管。） ○ 乳幼児教育保育アドバイザーの派遣回数<table><tr><th>令和 3 年度</th><th>令和 4 年度</th><th>令和 5 年度</th><th>令和 6 年度</th></tr><tr><td>234 回</td><td>304 回</td><td>385 回</td><td>362 回</td></tr></table> ○ 乳幼児教育保育の質の向上に関する懇談会、人材育成のための意見交換会等の開催 ○ 幼稚園教諭・保育士等の合同研修会の開催、公開保育の実施 ○ 各区において、全ての幼稚園教諭・保育士・小学校教諭を対象にした幼保小接続に係る研修を実施（令和 5 年度～） ○ 幼保小連携推進園・校の指定及び各園での幼保小連携に関する実践研究・発表の実施 ○ 公立の認定こども園（拠点園）の設置（9 園）に向けて検討 ○ 市立幼稚園の統廃合の検討及び地域との協議（令和 4 年度～）（令和 5 年度に 1 園が閉園）	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	234 回	304 回	385 回	362 回
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度						
234 回	304 回	385 回	362 回						
義務教育については、公立校を中心とした提供体制の下、学校の地域コミュニティの核としての位置付けも踏まえながら、教育面の課題解決に向けて、適正配置に努める。また、児童生徒の増加が続いている学校については、必要な教室の増設のほか、通学区域の弾力化など、ハード・ソフト両面からの教育環境の改善に取り組む。	【市立小・中学校の適正配置の推進等】 (1) 大規模化等への対応 ○ 井口小学校校舎増築（令和 2 年度から事業着手、令和 6 年度竣工） ○ 祇園小学校校舎増築（令和 3 年度から事業着手、令和 9 年度竣工予定） ○ 祇園中学校屋内運動場等整備（令和元年度から事業着手、令和 3 年度竣工） ○ 小学校における過大規模校等による指定学校変更や中学校における隣接校・行政区域内校選択制の実施により、保護者の意向に配慮した通学区域の弾力的な運用を行っている。 (2) 小規模化への対応 ○ 湯来西小学校廃止（湯来東小学校に統合）（令和 6 年 4 月） (3) 湯来地域における小中一貫教育校の新設 ○ 地域住民が主体となって、地域の小学校・中学校の在り方について、以下のとおり検討が進められた。 ・ 湯来地域における小学校・中学校に関する意見交換会（令和 2 年 10 月～令和 3 年 4 月の期間に全 4 回開催） ・ 湯来地域における小学校・中学校の在り方検討会議（令和 3 年 8 月～令和 4 年 7 月の期間に全 6 回） ・ 湯来地域における小学校・中学校の在り方に係る提言書が本市に対して提出された。（令和 4 年 9 月） ・ 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議（令和 4 年 11 月～令和 6 年 3 月の期間に全 10 回開催） ○ これまでの地域における協議内容を踏まえ、本市において、湯来地域における小中一貫教育校に係る基本構想を策定（令和 6 年 4 月） ○ 基本構想に基づき、開校に向けた準備を進めていくため、湯来地域における小中一貫教育校開校準備会議を開催（令和 6 年 7 月～） ○ 校舎新築に係る基本計画を策定（令和 7 年 3 月）								

高等学校教育については、更なる少子化の進展を見据え、県・市の役割分担の下、多様なニーズに応じた受入体制の在り方の検討や普通科の特色化・魅力化に取り組む。	【魅力ある高校づくりについて】 ○ 令和 4 年 3 月に一部改定した「ハイスクールビジョン推進プログラム」に基づき、本市高等学校（高等学校及び中等教育学校）の将来構想を着実に推進するため、教育委員会内部に設置した「ハイスクールビジョン推進委員会」において、各高等学校の行動計画の進行管理、成果と課題の分析、人的支援や物的支援等について協議している。 ○ 令和 5 年度には沼田高等学校の体育コースを拡充、令和 6 年度には美鈴が丘高等学校にグローバル探究科を令和 7 年 4 月に設置することを決定した。																				
特別支援学校については、県と連携を図りながら、就学区域の見直しや学校の新設を含め、広島広域都市圏全体を見据えた学校体制の在り方を検討する。	【広島特別支援学校の児童生徒数の増加への対応について】再掲 ○ 広島特別支援学校の児童生徒数 <table><tr><th>区分</th><th>令和 3 年度</th><th>令和 4 年度</th><th>令和 5 年度</th><th>令和 6 年度</th></tr><tr><td>小・中学部</td><td>293 人</td><td>286 人</td><td>288 人</td><td>299 人</td></tr><tr><td>高等部</td><td>260 人</td><td>269 人</td><td>263 人</td><td>278 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>553 人</td><td>555 人</td><td>551 人</td><td>577 人</td></tr></table> ○ 当該学校の児童生徒数の増加に伴う教室不足の解消及び高等部における一層の職業教育の充実を図るため、既存校舎の北側の旧出島処理場跡地に、職業教育に必要な施設・設備を有する、高等部の単一障害学級の生徒が学ぶ校舎を増築し、令和 7 年 3 月に竣工した。 【広島特別学校の校舎新增改築】 ○ 児童生徒数の増加に対応するため、令和 3 年度に校舎増築に係る基本・実施設計を行い、令和 6 年度末に竣工した。また、グラウンド等の整備を令和 6 年度に着手しており、令和 7 年度末完了を予定している。 【今後の特別支援学校の在り方について】 ○ 令和 3 年度より、特別支援学校の就学区域の見直しや学校の新設の必要性を含め、広島広域都市圏全体の特別支援学校の児童生徒数の推移を見据えた学校体制の在り方等について県と協議を行っている。	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	小・中学部	293 人	286 人	288 人	299 人	高等部	260 人	269 人	263 人	278 人	合計	553 人	555 人	551 人	577 人
区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度																	
小・中学部	293 人	286 人	288 人	299 人																	
高等部	260 人	269 人	263 人	278 人																	
合計	553 人	555 人	551 人	577 人																	